

香りが伝わる、味が伝わる、心が伝わる—掛川茶

中根製茶株式会社



No.06



このメールは、弊社とお取引のあるお客様
またお名刺交換させて頂いた方々に配信させて頂いております。

1.秋の需要に向け「口切り新茶」の製造を始めます。

皆さまたいへんご無沙汰しております。夏の暑さもピークを過ぎ、今後の秋の需要期に向け今年も秋冬限定「口切り新茶」の準備が整いましたので商品のご案内をさせていただきます。

「口切り新茶」はその昔、新茶の頃のおいしいお茶を茶壺に詰めて密封し、秋に封を切ってそのおいしさを味わう催し「口切りの茶事」を行ったことに由来します。新茶期に摘んだお茶は夏を越す間に熟成し、深みのある味と香りを持つようになります。今年も“後熟の香味”ともいわれる豊潤な「口切り新茶」を蔵出しいたしました。是非皆さまご利用いただけますようご検討のほどよろしく願いいたします。



商品名	口切り新茶
量目	100g
ロット	70本/CS

参考小売価格

¥1,050(税込み)

2.ap bank fes '11 結果報告

前回に「ap bank fes'11」への出店のお知らせをしたのですが、7月15日(金)~7月18日(祝月)の4日間、無事に出店を終えました。その時の状況について写真を交え報告させていただきたいと思います。当日は台風が接近していたのですが、幸運??にも最終日の午後から若干の雨のみで済み何とか4日間を無事運営することが出来ました。

当日は初めての出店にもかかわらず、たくさんの方々にご利用いただきまして誠にありがとうございました。最終日の雨以外は4日間通して日差しも強く、気温も連日猛暑日で、我々が提供していた掛川深蒸し茶を使った「深蒸し冷茶」が1日に1,500杯くらい、トータルで5,500杯販売することが出来ました。中にはマイボトルを持参で何度も利用していただいた方もいて「ここのお茶おいしいからね!!」という大変うれしいお言葉いただき、やりがいがありました。また、食事で提供していた「掛川豚丼」「掛川グリーンカレー」も大変高評で「来年も!!」と今からメンバー一同はりきっております。

リーフ茶の需要が落ち込んでいる今、お茶も提供方法を変え、普段とは違った販売チャネルで提案することにより、今までとは違った客層(今回は音楽フェスということで20代、30代がほとんどでしたが)へのアプローチが出来るということを身に沁みて感じました。一般の方たちのほとんどが「お茶」に対しては大変良いイメージを持っており、お茶は最高の商材だと思います。あとは提供する側がお客様に対してどのように提供していけばいちばん喜ぶのかという事を常に考え、すこし違った方法で提案してみるということも、今後のお茶の需要を高めるのに必要な課題ではないかと感じました。昨今「若い人たちがお茶を飲まなくなった…」とよく聞かれますが、今回のイベントを通じ逆に、販売方法ひとつで若い世代の市場の可能性に期待を寄せることが出来ました。

今後もお茶に対しての色々な可能性を探して参りたいと思いますので引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



“ap bank '11 Fund for Japan” in KAKEGAWA!!



うしろの「掛川宿」の一角で
出店しました



店の名前は「掛川屋」です



お昼時にはすぐに行列です



ときには20mの行列も!!



大人気の「冷茶」
カップはリユースカップ!!



こちらも大人気!!「掛川豚丼」



Mr.Children S氏





そして毎年恒例の締めの花火!!

3.筆者あとがき

最近、講演会等を聞きに行く機会が多く、その中から大変影響を受けた方をご紹介します。この方は全国的にも大変有名な方で、以前よりDVDやCDなどを通じ講演を良く聞いていたのですが、つい先日掛川の隣の菊川市へ講演のためにいらっしゃって、ついに生の講演を聴くことが出来ました。

この方の話を聞いた後には、自分自身「明日から何をしてやろう!!」と大変やる気をもらいます。固くかしまった話ではなく、自分の体験談を元に、笑いを織り交ぜながらの話は人をどんどんひきつけますので是非皆さんもお気軽に聞いてみてください。

中村文昭氏

		<p>【主な著書・CD・DVD】</p> <p>「お金でなく、人のご縁ででっかく生きろ」 (書籍:サンマーク出版)</p> <p>「中村文昭のみるみる元気がわいてくる！」 (CD:サンマーク出版)</p> <p>「人生の『師匠』をつくれ！」 (CD:サンマーク出版)</p>
---	---	---

中根製茶株式会社
〒436-0085
静岡県掛川市成滝425-1
TEL.0537-23-3252
FAX.0537-24-0852
E-mail:motoomi@kakegawa-cha.co.jp
<http://www.kakegawa-cha.co.jp/>

筆者 中根 基臣



〈メール配信停止について〉

メール配信につきまして今後ご希望でない方はお手数ですが下記のメールアドレスまで空メールをお願い致します。

eigy@kakegawa-cha.co.jp